

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221322062	栄養教育論 I Nutrition Education theory I	田中 優成			2	必修	2後期
科目の概要							
管理栄養学科では、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を基盤とし（DP2）、管理栄養士に不可欠な専門的知識・技能を修得するとともに（DP3）、人々の日常生活を健康の面から支援できる実践力を備えた人材の育成を目指している（DP4）。それらを実現するために本科目では、対象者の行動変容を促すための多様な方法について理解を深めるとともに、栄養教育プログラムの立案・実施・評価の一連の過程を学ぶ。具体的には、行動科学の理論やモデル、行動変容技法、栄養カウンセリング技法を基礎として、栄養教育プログラムの実践方法を学修する。							
学修内容				到達目標			
① 栄養教育のための食行動科学の理論とモデル、行動変容技法を理解する ② 栄養カウンセリングにおける技法や進め方について理解する ③ 栄養教育におけるマネジメントサイクルについて理解する				① 行動科学の理論とモデル、行動変容技法についてそれぞれ説明することができる ② 対象者の行動変容に向けて適切な栄養カウンセリング技法を活用することができる ③ 対象者の課題を解決するためのアセスメント方法・目標設定・評価法を適切に立案することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自ら予習し自発的に授業に取り組むことができる					
	働きかけ力						
	実行力	予習の確認テストで6割以上得点することができる					
考え抜く力	課題発見力	授業内で理解できなかった自己の課題を発見し、「PCRシート課題発見」に自己の課題と課題解決の学修内容を明確に記述できる					
	計画力						
	創造力	修得した知識・技能を最大限に活用して従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を想起することができる					
チームで働く力	発信力	他者が見てもわかりやすく、理解してもらえるように、図表や表現を工夫して授業ノートをまとめることができる					
	傾聴力	他者とのディスカッションの中で、自分とは異なる新たな視点として受け入れることができ、それに対して返答をすることができる					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業内で決めたルールを遵守することができる					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
◎マスター栄養教育論 四訂 編著：佐藤香苗/安達内美子 出版社：建帛社 ◎Google NotebookLM 〔オープンエデュケーション〕 栄養教育ラーニングチャンネル https://www.youtube.com/@eiyo_kyoiku_learning							
他科目との関連、資格との関連							
【他科目との関連】 本科目は、「基礎栄養学Ⅰ・Ⅱ」「食事摂取基準論」「栄養管理プロセス論」「応用栄養学Ⅰ」で獲得した知識を活用する。また、後に履修する「栄養教育論実習Ⅰ」や「栄養教育論Ⅱ」の基盤となる科目である。 【資格との関連】 管理栄養士 栄養士 栄養教諭							
学修上の助言				受講生とのルール			
対象者の食行動を起因とした疾病への予防・改善を目的に栄養教育します。したがって、上記に挙げたような科目で学修した内容をしっかりと復習してから履修しましょう。また、本授業ではNotebookLMを予習・復習を始め様々な場面で活用していきます。パソコンは常に持参し、正しい使用の仕方も学んでいきましょう。				他者との話し合いの際にはしっかりと自分の意見を発信しながら他者の意見を聴き、自分ひとりで解決できないことは他者に頼りましょう。また、提出物は期日を必ず守りましょう。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	○×問題、正誤改変問題、記述問題、国家試験の過去問に基づき出題する。 発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 60% (活用) 20% (解決) 20%	
			②	✓		
			③	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓	全2回の小テストを下記の範囲から出題する。(全2回×各10点=20点満点) ①行動科学の理論とモデル ②行動変容技法、栄養カウンセリング技法 発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 60% (活用) 20% (解決) 20%
				②	✓	
				③		
		レポート	10	①	✓	教科書の内容に基づいた問題を事前に予習として出題し、全13回×各10点=130点満点を10点満点に換算した点数とする。 なお、授業時間までに提出できなかったものは正誤に関わらず無条件で-3点し、7点満点で評価する。 発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 90% (活用) 10% (解決) 0%
				②	✓	
③				✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①			
			②			
	③					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	ルーブリックで評価。各能力レベルは4点を満点として配点。 (主体性) 自発的に予習に取り組むことができる (実行力) 粘り強く取り組むことができる (課題発見力) 情報収集や分析をして、課題を明らかにすることができる (創造力) PCRシートに新しい解決策を想起することができる (発信力) PCRシートの図表や表現を工夫することができる (傾聴力) 授業内容・学生間のディスカッション時にしっかりと発言し、意見を聴き入れることができる (規律性) PCRシートを期限内に提出することができる	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>栄養教育を行うための理論や技法を十分に理解して獲得したうえで、栄養教育プログラムの立案に活用して対象者の課題を解決する具体的な目標や評価の方法を提案することができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。</p>	<p>栄養教育を行うための理論や技法を十分に理解して獲得したうえで、栄養教育プログラムの立案に活用することができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の運営、目標、評価方法等を理解し、栄養教育の概念と行動科学を学修する。	講義 Google Classroom NotebookLM	本授業の意義と目的を理解でき、栄養教育とは何かを説明することができる	予習：自身が思う栄養教育とは何かを自分の考えをまとめる 復習：講義を受け、栄養教育とは何かを説明することができるように自身の考えとの相違点も含めて考察する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「行動科学の理論とモデル①」 刺激-反応理論、生態学的モデル、ヘルスビリーフモデルについて学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	刺激-反応理論、生態学的モデル、ヘルスビリーフモデルについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p.3～p.10 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「行動科学の理論とモデル②」 トランスセオレティカルモデル、計画的行動理論、社会的認知理論、ソーシャルサポートについて学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	トランスセオレティカルモデル、計画的行動理論、社会的認知理論、ソーシャルサポートについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p.10～p.19 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「行動科学の理論とモデル③」 コミュニティオーガニゼーション、イノベーション普及理論、ヘルスリテラシー、セルフヘルプグループ、グループダイナミクス、エンパワメント、食環境づくりについて学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	コミュニティオーガニゼーション、イノベーション普及理論、ヘルスリテラシー、セルフヘルプグループ、グループダイナミクス、エンパワメント、食環境づくりについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p.19～p.23、p.48～p.52 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「小テストA：行動科学の理論とモデル」 「栄養カウンセリング①」 栄養カウンセリングとは何か、栄養カウンセリング技法について学修する	小テストA 講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	栄養カウンセリングとは何か、栄養カウンセリング技法について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p.24～p.28 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「栄養カウンセリング②」 認知行動療法と面接の実際について学修する	小テストAのフィードバック（行動科学の理論とモデルの復習） 講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	認知行動療法と動機づけ面接、初回面接と継続面接について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p.28～p.38 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「行動変容技法①」 行動変容のための技法について学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	それぞれの行動変容技法について、その意味と活用例について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p.38～p.47 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「小テストB：栄養カウンセリング・行動変容技法」 「栄養教育マネジメント」 プリシード・プロシードモデル、ソーシャルマーケティングについて学修し、その活用事例を考える	小テストB 講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	栄養教育マネジメントおよびプリシード・プロシードモデル、ソーシャルマーケティングについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p.54～p.59 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「栄養教育のためのアセスメント」情報収集の方法とアセスメントの種類について学修する	小テストBのフィードバック(栄養カウンセリング・行動変容技法の復習) 講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	栄養アセスメントについて説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 59～p. 67 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「栄養教育の目標設定と計画立案①」栄養教育プログラムの目標設定と計画立案の方法について学修し、実践例を考える	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	栄養教育プログラムの目標設定と計画立案の方法について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 68～p. 77 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「栄養教育の目標設定と計画立案②」学習形態の種類と方法、栄養教育で用いる教材について学修し、その活用事例を考える	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	それぞれの学習形態と教材についての特徴を説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 77～p. 93 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「栄養教育の実施と評価①」モニタリングの方法、評価の種類と方法を学修する	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	それぞれの評価の種類について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 93～p. 109 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「栄養教育の実施と評価②」評価のデザイン、評価結果の解釈	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	それぞれの評価のデザインと結果の解釈について説明することができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 109～p. 113 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「栄養教育の実施と評価③」得られた情報から実際の評価の活用事例を考える	講義 Google Forms NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	適切な評価を行うことができる	予習：該当箇所の教科書を読んでGoogle Formsで予習を実施する。〈範囲〉教科書p. 93～p. 113 復習：NotebookLMを活用した課題発見と自己解決	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「到達目標の確認とまとめ」栄養教育に用いる技法や栄養教育マネジメントを復習し、栄養教育一連の流れを理解する	講義 NotebookLM ペア・グループワーク ディスカッション	学修の到達目標①～③について、振り返りができる	予習：これまでで理解が不十分な箇所をまとめておく 復習：NotebookLMを活用した作問と内容の理解	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力